

デジカメ画像自動取込ソフト

超簡単コピー

1まとめ&時系列リネーム版

取扱説明書

目次

1.	本ソフトの特長	3
2.	ソフトウェアライセンス契約書	4
3.	必要システム	5
4.	推奨ハードウェア環境	5
5.	インストール	6
5.1.	本体	6
5.2.	ドライブ自動再生機能無効化ソフト	7
5.3.	プリンタドライバ	9
5.3.1.	Windows Xp の場合	12
5.3.2.	Windows 2000 の場合	13
6.	推奨プリンタの用紙設定	14
7.	ドライブ自動再生機能の無効化	15
7.1.	概要	15
7.2.	無効化方法	15
8.	アンインストール方法	16
8.1.	Windows Xp の場合	16
8.2.	Windows 2000 の場合	16
9.	ソフトの使用方法	17
9.1.	自動処理	17
9.2.	手動処理	18
9.3.	使用方法	18
10.	設定	19
10.1.	コピー方法	19
10.2.	日付毎フォルダ作成	20
10.3.	ファイル名の書式	20
10.4.	コピー先	20
10.5.	メディア検出時動作設定	20
10.6.	処理結果メッセージ設定	20
10.7.	コピーしたファイルのリスト作成	21
10.8.	コピー先フォルダ名印刷	21
10.9.	コピー先フォルダを開く	21
10.10.	連番の付け方	21
10.11.	連番の桁数	21
10.12.	メディア識別連番	22
10.13.	監視ドライブ	22
10.14.	監視対象外ドライブの処理	22
10.15.	設定ファイルを開く	23
10.15.1.	容量チェック	23
10.15.2.	プリンタ名の設定	23
10.15.3.	ドライブ名の設定	24
10.16.	設定の組み合わせによる特記事項	24
11.	サポート	25
11.1.	概要	25
11.2.	サポートお申し込み手順	25
11.3.	サポート申込書	26

1. 本ソフトの特長

メディア挿入、又は、フォルダ選択だけで、全ファイルを更新日時（加工していなければ撮影日時）でリネーム&1箇所にまとめながらコピーできます。

デジカメで撮影した画像を撮影日順に管理したい場合に最適です。

メディアを入れるだけで、操作は全く必要ありません。(設定によってはボタンを1回押すだけ)

- ・メディアの挿入(常駐させた場合)
 - ・フォルダをアイコンにドラッグ&ドロップ
 - ・フォルダを右クリック 送る
- のいずれかの方法だけでコピーできます。

ファイルが複数のフォルダに入っていても、1箇所にまとまります。

JPG 画像だけでなく、TIFF,RAW,動画,その他、全てのファイルがコピーされます。

元の画像はリネームされず、そのまま残ります。

コピー元に同じ日時で同じ形式のファイルがあった場合でも、ファイル名の後ろに自動的にシリアル番号が割り振られますので、上書きを気にする事なくコピーできます。

コピーしたファイルのリストを作成できます。

ラベルプリンタ等で、コピー先フォルダ名を印刷できます。

2. ソフトウェアライセンス契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、本ソフトウェアライセンス契約書(以下、ライセンス)を、よくお読みください。

本ソフトウェアを使用したことにより、ライセンスならびにその内容に同意した事になります。もし、ライセンスならびにその内容に同意する事ができない場合、本ソフトウェアを使用しないでください。

本ソフトウェアは、本ライセンスの条件下のみで使用できる使用権が弊社より与えられており、それ以外の権利の一切については弊社が保持しています。あなたは本ソフトウェアが記録されているメディアを所有する事はできませんが、ソフトウェア自体の所有権は弊社が保持しています。

本ソフトウェアより生じた損害に関しては、当方は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本ソフトウェアは、1台のコンピュータに対してのみ、インストールする事が可能です。

本ソフトウェアをリバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブル、及び、その他の方法で本ソフトウェアを人間が理解できる形式に変えてもいけません。

本ソフトウェアの修正、改造、翻訳、レンタル、リース、貸与、販売を行ってはいけませんし、本ソフトウェアもしくはその一部に基づく派生的な著作物(二次的著作物)を作成してはいけません。

3. 必要システム

OS	Windows Xp Service Pack 2 又は Windows 2000 Service Pack 4
パソコン	PC/AT 互換機 NEC の PC-98 シリーズ(PC-9801, PC-9821, PC-98NX)は 完全な PC/AT 互換機ではないので動作対象外となります
画面解像度	XGA (1024 x 768 ピクセル) 以上

4. 推奨ハードウェア環境

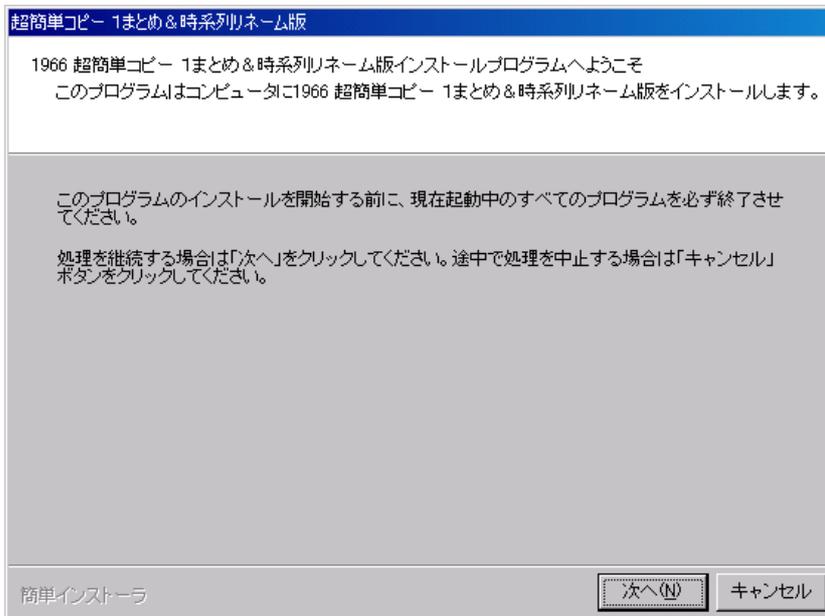
パソコン	メーカー・機種は問いません
カードリーダー	USB の場合は Ver.2.0 規格の機器
プリンタ	CASIO EL-100 http://casio.jp/d-stationery/printer/el_700/ 本体実売 1 万円前後 (' 06 年 6 月弊社調べ)
プリンタラベル	9 mm幅 (色や種類は問いません)

コピー先フォルダ名を印刷しない場合は不要です。

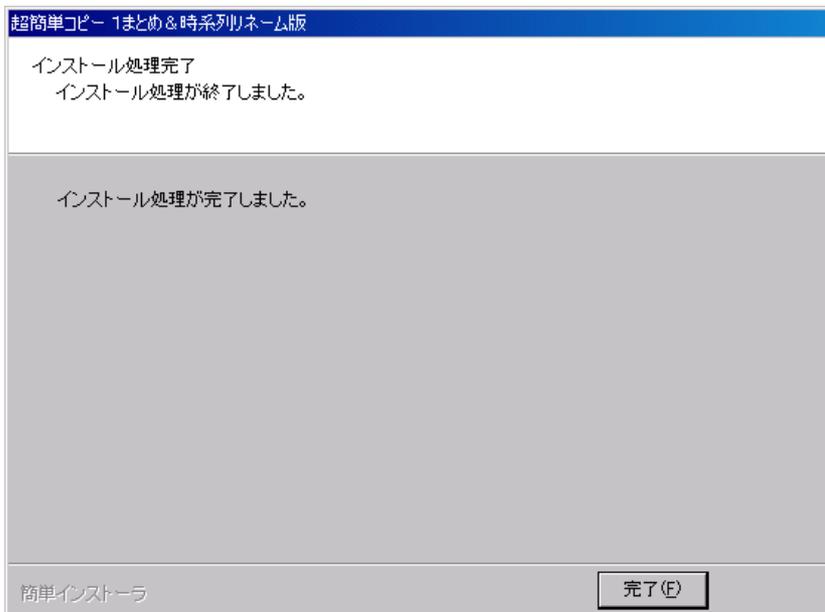
5. インストール

5.1. 本体

CDを開いて、setup 又は setup.EXE を開くと、下記の画面が表示されるので、「次へ」ボタンを押してください。



完了ボタンを押してください。



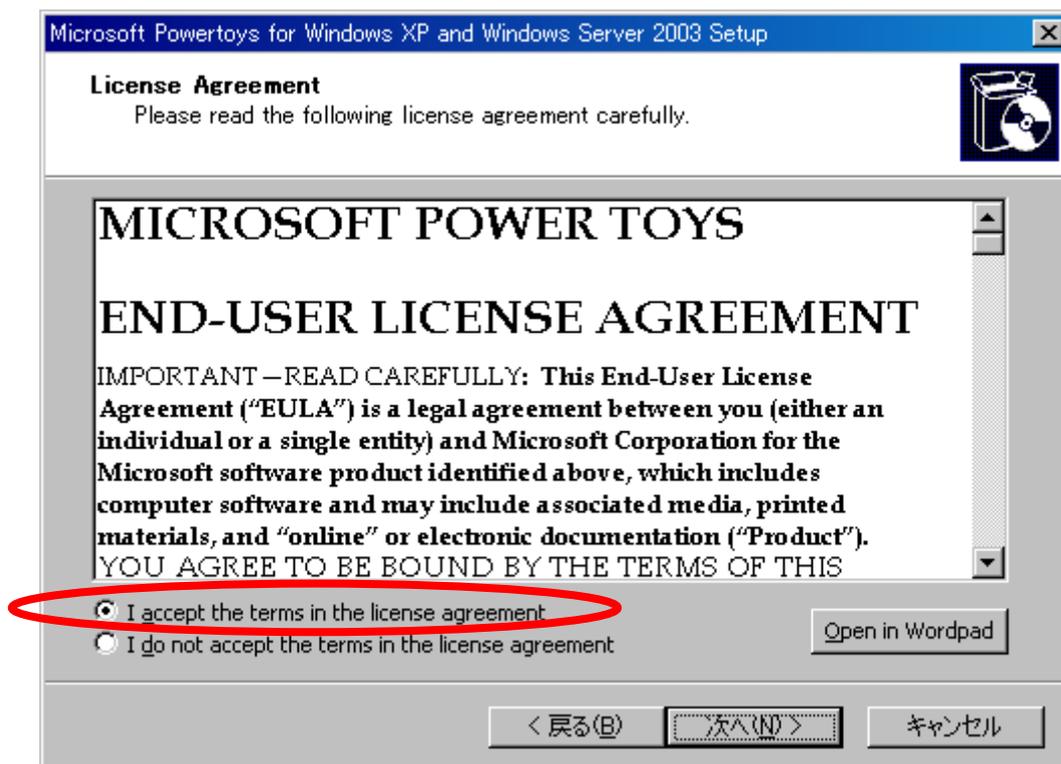
5.2. ドライブ自動再生機能無効化ソフト

ドライブ自動再生機能の詳細は、7.項 ドライブ自動再生機能の無効化 をご覧ください。

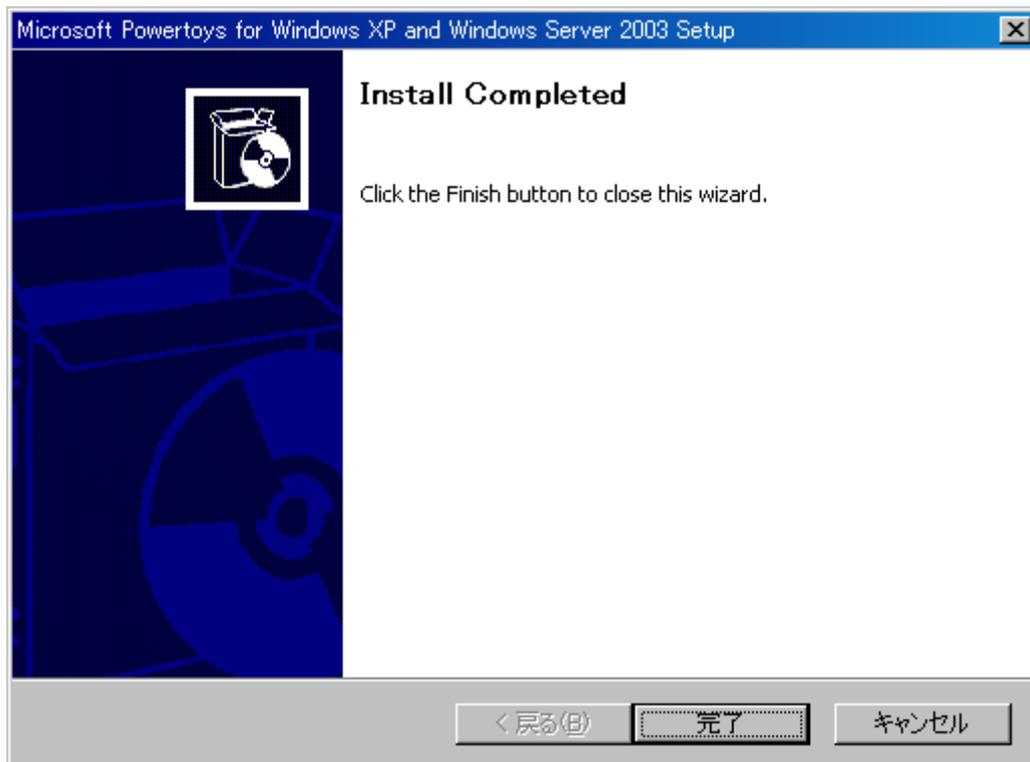
Windows Xp の場合は、下記の画面が表示されるので、「次へ(N) >」ボタンを押してください。



「I accept . . .」の左側の「」を黒くして、「次へ(N) >」ボタンを押してください。



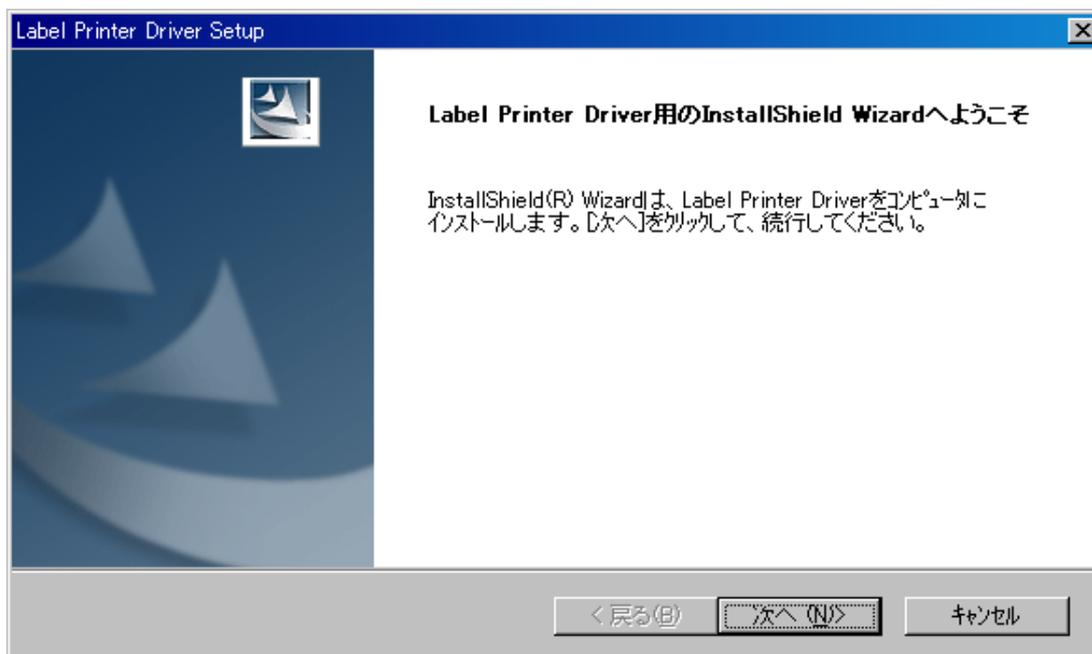
「完了」ボタンを押してください。



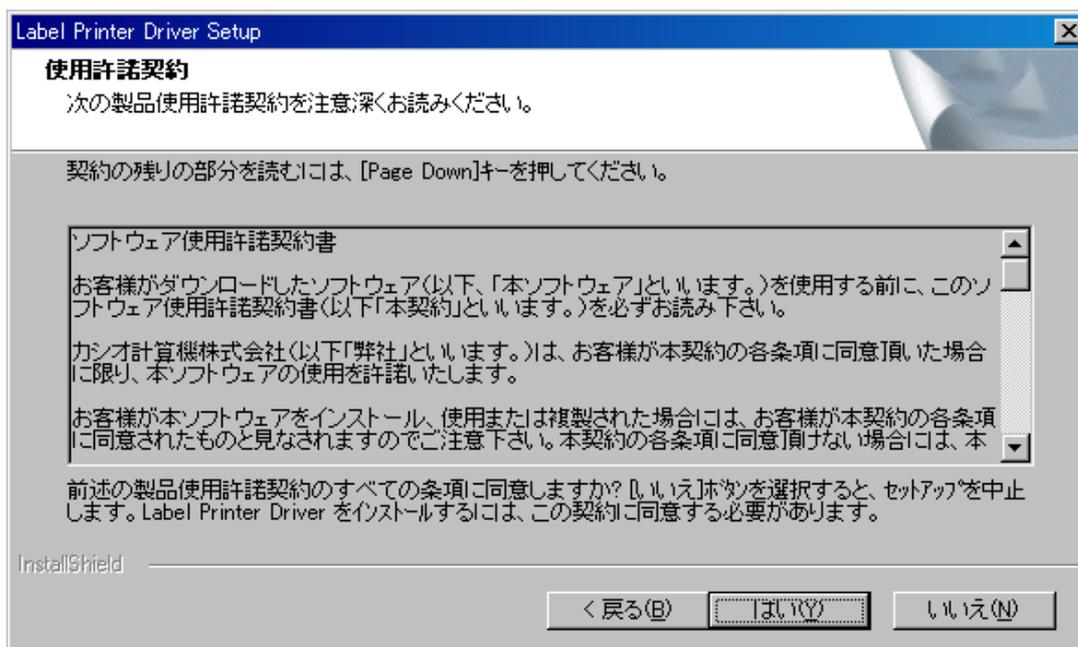
5.3. プリンタドライバ

推奨プリンタ CASIO EL-100 を使用しない場合は、次の項へお進みください。

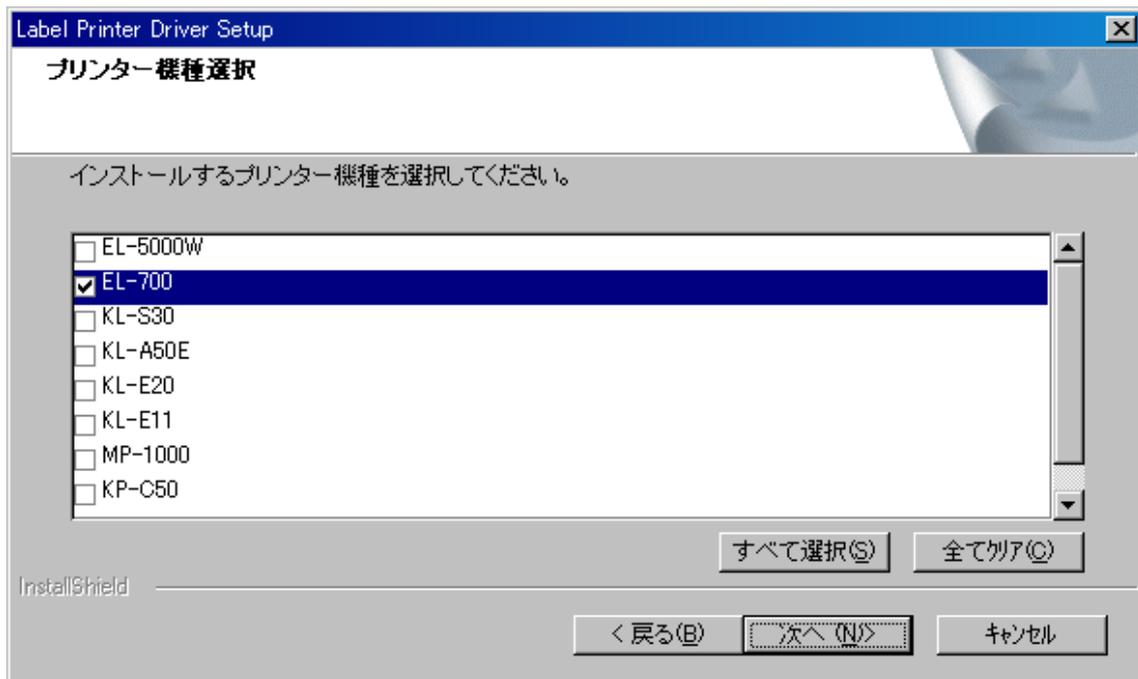
インストールフォルダ C:\Program Files\1966EasyCopyRename 内に入っている
CLPDrv101002J 又は CLPDrv101002J.exe
を実行すると下記の画面が表示されるので、「次へ」ボタンを押してください。



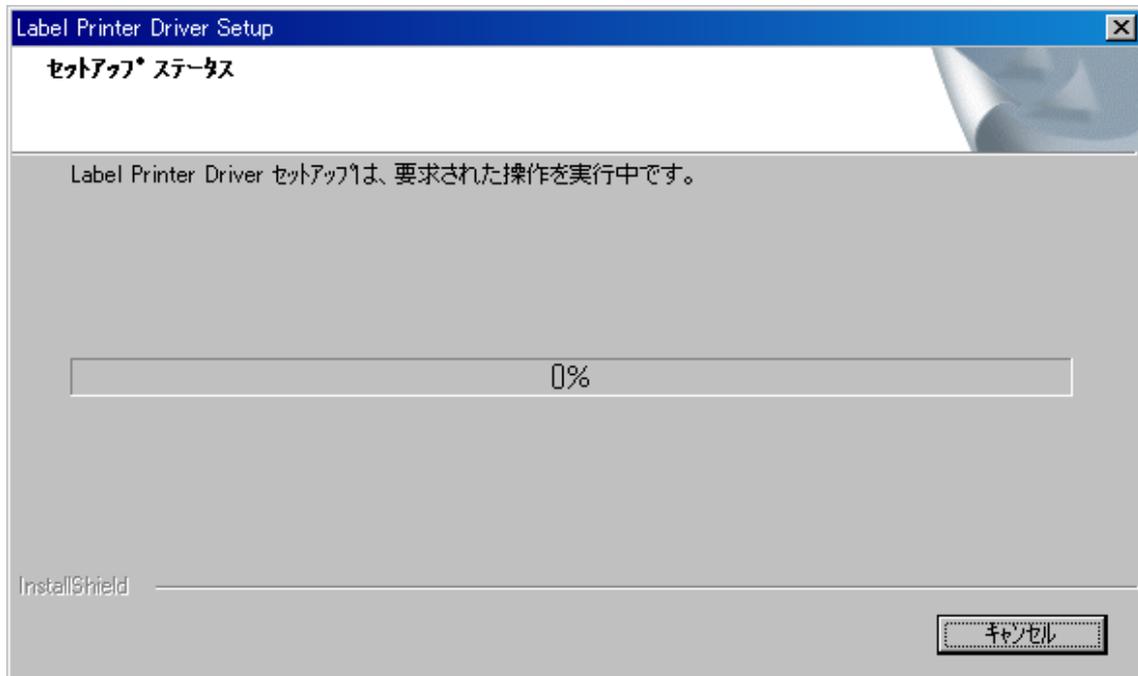
「はい」ボタンを押してください。



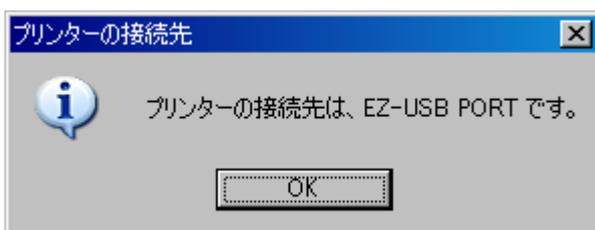
「EL-700」と書いてある行の左側にチェックを入れて「次へ」ボタンを押してください。



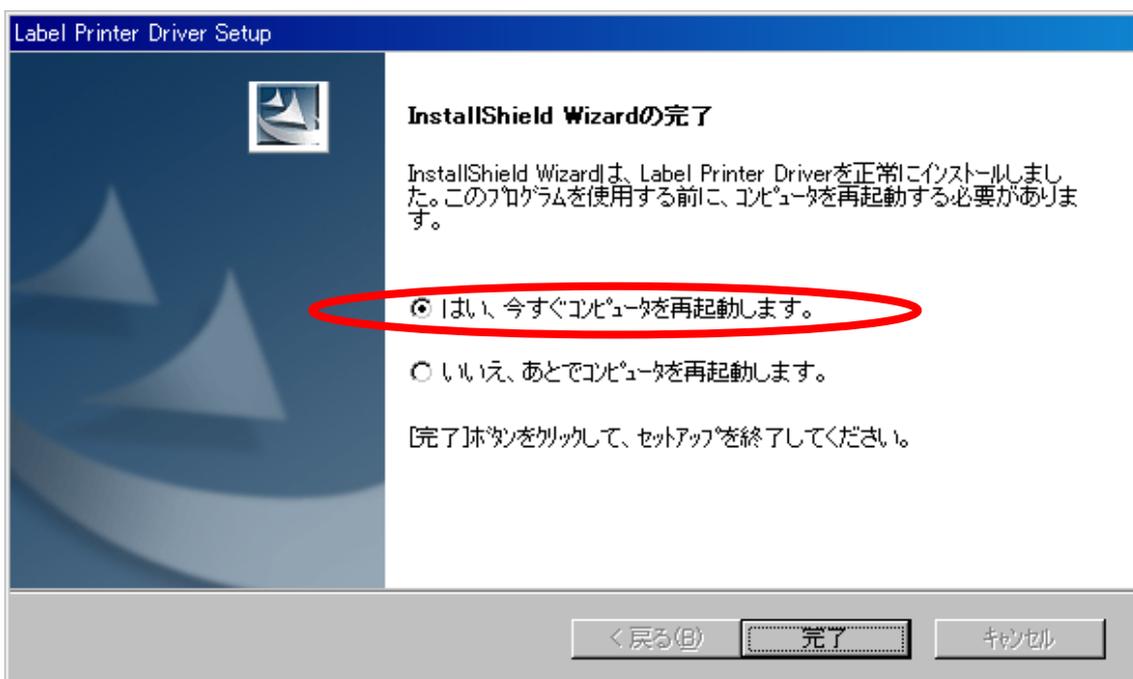
下記の画面が表示されますので、しばらくお待ちください。



「OK」ボタンを押してください。



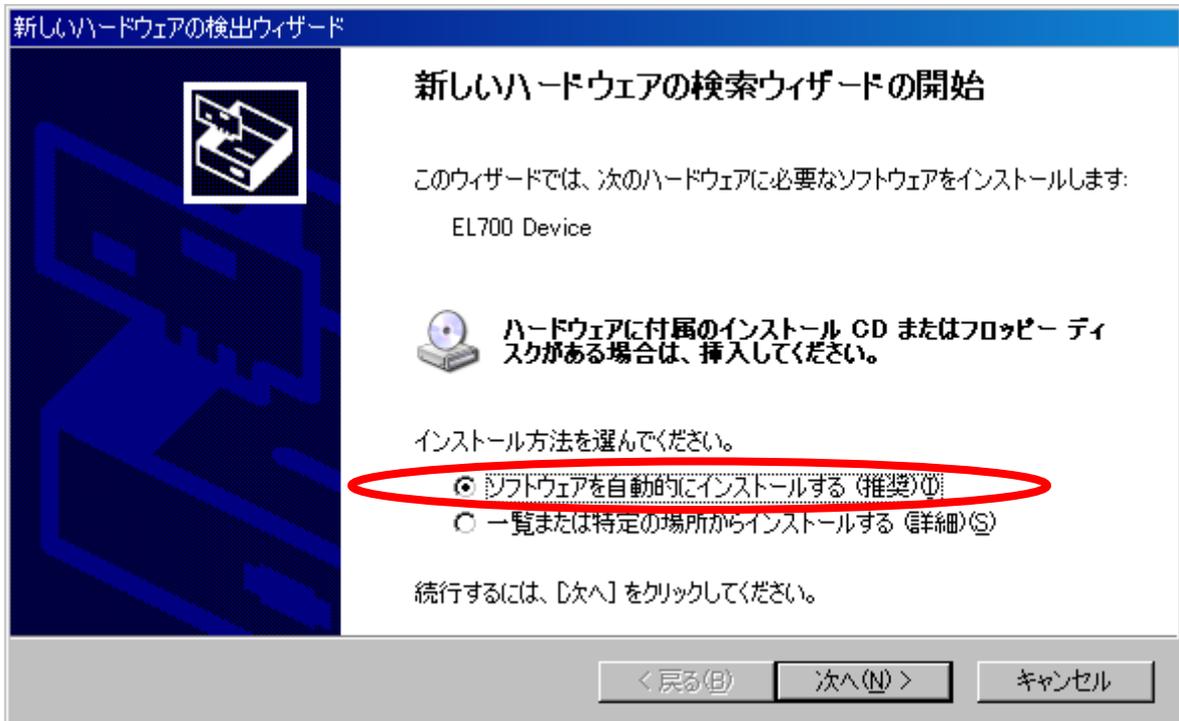
「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して「完了」ボタンを押してください。



パソコンが再起動したら、テープを本体にセットしてからACアダプタを接続し、プリンタをパソコンに接続してください。

5.3.1. Windows Xp の場合

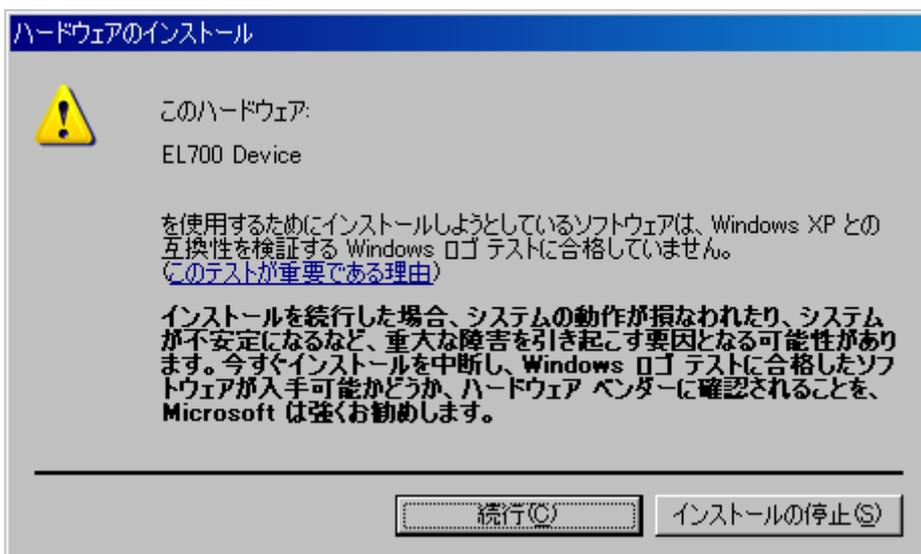
「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択して、「次へ」ボタンを押してください。



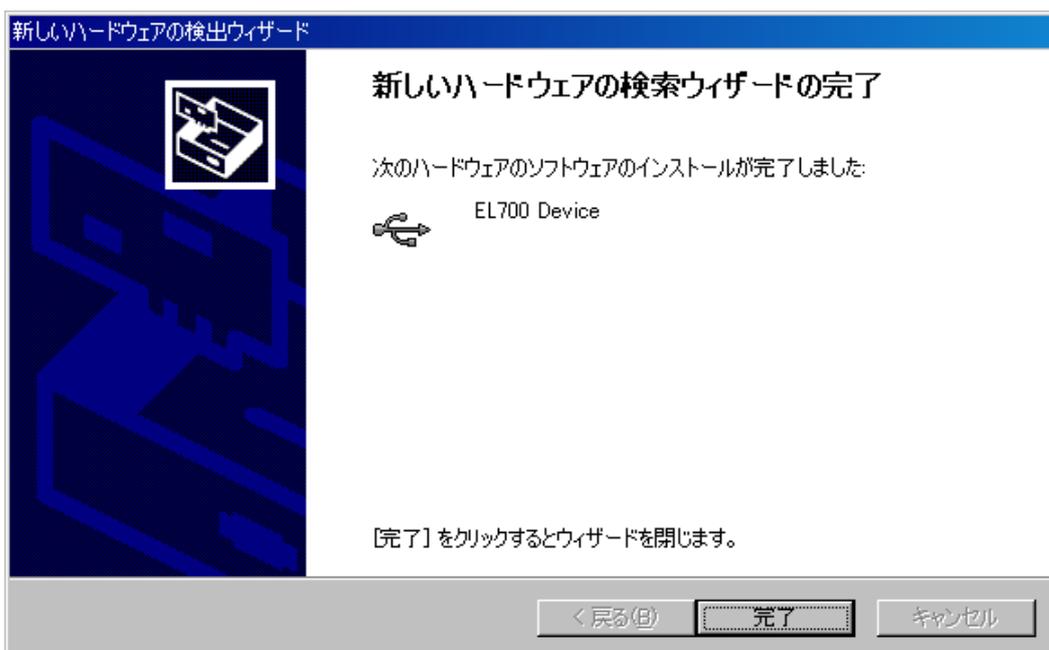
下記の画面が表示されますので、しばらくお待ちください。



「続行」ボタンを押してください。



「完了」ボタンを押してください。



5.3.2. Windows 2000 の場合

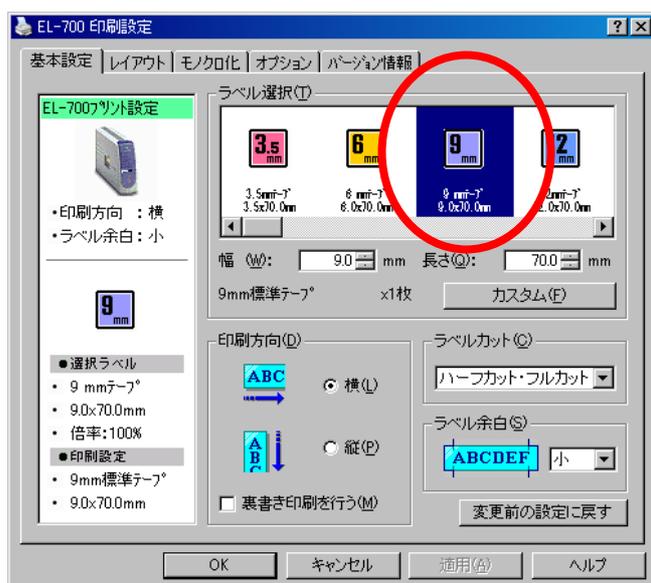
下記の画面が表示されるのでしばらくお待ちください。画面が消えたら完了です。



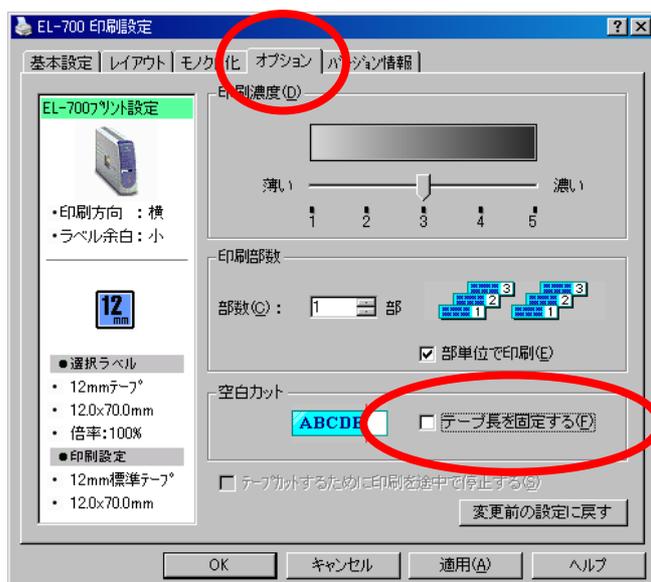
6. 推奨プリンタの用紙設定

推奨プリンタ CASIO EL-100 を使用しない場合は、次の項へお進みください。

スタートボタン 「プリンタと FAX」の順に選択し、開いた画面で「EL-700」を右クリック
「印刷設定」の順に選択すると下記の画面が表示されるので、「ラベル選択」枠内の「9mm テープ」を選択してください。



画面上部の「オプション」タブを選択すると下記の画面が表示されるので、「空白カット」枠内の「テープ長を固定する」のチェックをはずして、画面下部の「OK」ボタンを押してください。



以上で、設定は完了です。

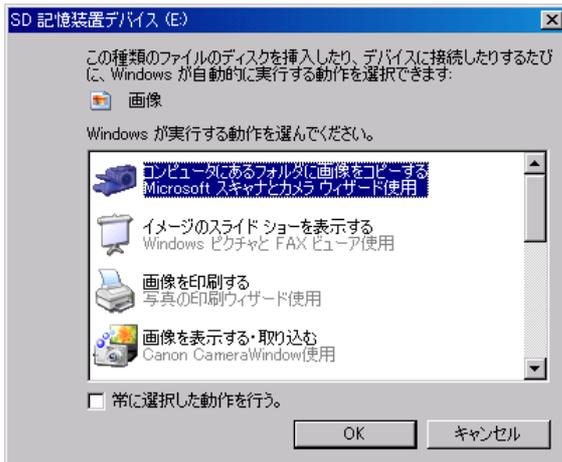
「EL-700のプロパティ」画面で「OK」ボタンを押して、「プリンタ」(又は「プリンタと FAX」)画面を閉じてください。

7. ドライブ自動再生機能の無効化

7.1. 概要

Windows 2000 の場合は、この設定は必要ありません。

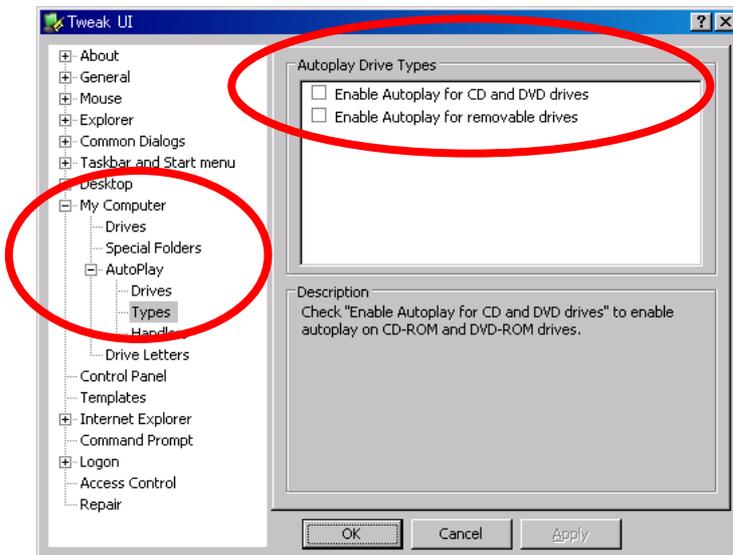
Windows Xp では各種メディアをパソコンに挿入すると自動的に下記の画面が表示され、店頭受付時には余計な表示になってしまうので、その機能を無効化する設定を行います。



7.2. 無効化方法

「スタート」 「すべてのプログラム」 「Powertoy for Windows XP」 「Tweak UI」の順に選択して、「Tweak UI」を開いてください。

左側のリストの中から「My Computer」 「AutoPlay」 「Types」を開いて、右側の「Autoplay Drive Types」枠内の「Enable Autoplay for CD and DVD drives」及び「Enable Autoplay for removable drives」の左側の「」に付いているチェックを両方はずして、「OK」ボタンを押してください。



8. アンインストール方法

8.1.Windows Xp の場合

スタートボタン コントロールパネルの順に選択して、「プログラムの追加と削除」を開いてください。

表示されたソフトの一覧から「1966 超簡単コピー 1まとめ&時系列リネーム版」を選択して、「削除」ボタンを押してください。

8.2.Windows 2000 の場合

スタートボタン 設定 コントロールパネルの順に選択して、「アプリケーションの追加と削除」を開いてください。

表示されたソフトの一覧から「1966 超簡単コピー 1まとめ&時系列リネーム版」を選択して、「削除」ボタンを押してください。

9. ソフトの使用方法

弊社の他のソフト

「超簡単コピー」シリーズ

デジカメプリント受付ソフト「超簡単各1受付」

デジカメプリント店頭受付ソフト「DPOF Maker Self」のドライブ監視ソフト

との同時起動は行えませんのでご了承ください。

メディア挿入時に自動的にコピーする方法で使用する場合は

9.1.項 自動処理 をご覧ください。

メディアを挿入してから手動で行う場合や、既にパソコンに取り込んであるフォルダ内のファイルを処理する場合は、

9.2.項 手動処理 をご覧ください。

9.1. 自動処理

本ソフトは、次回パソコン起動時からは自動的に起動する様になっており、各種ドライブにメディアが挿入されると、コピーするか否かの確認メッセージが表示されます。

本ソフトが起動しているか否かは、画面右下のタスクトレイに紺色と灰色の「コピー リネーム」のマーク（アイコン）が表示されているか否かで判断でき、表示されている場合は本ソフトが起動中です。

Windows Xp では隠れている場合がありますので、タスクトレイ左側の「 」の部分をクリックして全てのアイコンが表示された状態でご確認ください。

タスクトレイにアイコンが表示されていない場合は、下記のいずれかの方法で本ソフトを起動してください。

デスクトップの「1966 超簡単コピー 1まとめ&時系列リネーム版」を開く

画面下部のタスクバー内の紺色と灰色の「コピー リネーム」マークのアイコンをクリック
スタートボタン 「プログラム」 「1966 超簡単コピー 1まとめ&時系列リネーム版」の順に選択

本ソフトを終了させる場合は、タスクトレイのアイコンをクリックして、「終了」を選択してください。

Windows Xp では隠れている場合がありますので、タスクトレイ左側の「 」の部分をクリックしてから行ってください。

9.2. 手動処理

本ソフトは、次回パソコン起動時からは自動的に起動する様になっているので、スタートボタンで右クリックして「開く」を選択して表示された画面で、「プログラム」「スタートアップ」の順に開き、「1966 超簡単コピー 1まとめ&時系列リネーム版」を削除してください。

手動で起動させる場合は、下記のいずれかの方法で起動してください。この方法で起動した場合は、処理終了後に本ソフトは終了します。

画像が入っているドライブ又はフォルダを本ソフトのアイコンにドラッグ&ドロップ
画像が入っているドライブ又はフォルダアイコンの場所で右クリック 「送る」「1966 超簡単コピー 1まとめ&時系列リネーム版」の順に選択

パソコン起動時に自動起動させる場合は、デスクトップに作成された「1966 超簡単コピー 1まとめ&時系列リネーム版」アイコンを右クリックして「コピー」を選択してから、スタートボタンで右クリックして「開く」を選択して表示された画面で、「プログラム」「スタートアップ」の順に開き、開いた画面内で右クリックして「貼り付け」を選択してください。

以上の設定で、次回パソコン起動時からは本ソフトが自動的に起動する様になります。

9.3. 使用方法

コピー先に指定されているドライブにメディアを挿入しても、処理は行われません。

処理中は何も表示されませんが、そのまましばらくお待ちください。今後のバージョンでは処理中である事を表示する予定ですが、現状はコピー元及びコピー先のアクセスランプ等でご確認ください。

完了した旨のメッセージが表示されたら、コピー元・コピー先ともに、メディアへのアクセスが行われていない事を確認してから、それぞれのメディアを取り出してください。

10. 設定

各種の設定は、本ソフト起動後のタスクトレイにて行います。

10.1. コピー方法

直接コピー

常に上記の「コピー先設定」で指定した場所にコピーされます。

新規フォルダを作成してその中にコピー

コピー毎に選択したフォルダ内に新しいフォルダを作成してその中にコピーします。

コピー方法の違いは下記の通りです。

2004年01月23日01時23分45秒に撮影された画像
2004年12月31日10時20分30秒に撮影された画像
の2つファイルが入っていたメディアの場合

「直接コピー」を選択して2回作業を行った場合

コピー先に指定したフォルダ

20040123_012345.jpg
20040123_012345_1.jpg
20041231_102030.jpg
20041231_102030_1.jpg

同時刻のファイルなので後ろに連番が付きます

「新規フォルダを作成してその中にコピー」を選択して、下記の日時に2回作業を行った場合

2003年09月01日12時34分56秒
2003年09月01日20時30分40秒

コピー先に指定したフォルダ

30901-123456
20040123_012345.jpg
20041231_102030.jpg

30901-203040
20040123_012345.jpg
20041231_102030.jpg

10.2. 日付毎フォルダ作成

する

日付毎にフォルダが作成され、その中にその日付のファイルがコピーされます。
フォルダ名の書式を選択してください。

しない

指定した場所に直接ファイルがコピーされます。

10.3. ファイル名の書式

ファイル名の書式を選択してください。

10.4. コピー先

コピーする先のドライブ又はフォルダを選択してください。

初期設定では、インストールしたフォルダ

C:¥Program Files¥1966EasyCopyRename

が設定されています。

10.5. メディア検出時動作設定

自動コピー

各種メディアの挿入するだけで自動的にコピーします。

都度選択

各種メディアを挿入すると、コピーするか否かの選択画面が表示されますので、コピーする場合は「はい」ボタンを、しない場合は「いいえ」ボタンを押してください。

10.6. 処理結果メッセージ設定

常に表示

正常に終了した場合も、常に表示します。

エラー発生時のみ

エラー発生時のみ表示され、正常に終了した場合には表示されません。

メディア検出時動作	自動コピー
処理結果メッセージ	エラー発生時のみ

の組み合わせると、複数メディアを連続で取り込む場合等に便利です。

10.7. コピーしたファイルのリスト作成

作成しない

コピーしたファイルのリストは作成されません。

ファイル名のみで作成

ファイル名のためのリストが作成されます。

フルパスで作成

ドライブ名からファイル名までのフルパスのリストが作成されます。

10.8. コピー先フォルダ名印刷

する

「コピー方法」 - 「新規フォルダを作成してその中にコピー」を指定した場合に、コピー元のドライブ名、及び、コピー先のフォルダ名を印刷します。

しない

印刷は行いません。

10.9. コピー先フォルダを開く

開く

コピー完了後にコピー先のフォルダが開きますので、コピーされたファイルの確認が行えます。

開かない

コピー完了後にコピー先のフォルダは開けません。

10.10. 連番の付け方

常時

常に、ファイル名の後ろに連番が付きます。

同じファイル名になった場合のみ

同名（同じ日付又は時刻）のファイルがあった場合に、ファイル名の後ろに連番が付きます。

10.11. 連番の桁数

ファイル名の後ろに自動的に付く、連番の桁数を指定してください。

10.12. メディア識別連番

付ける

同名ファイルの連番の前に、もう1つ別の連番が付きます。
連番は、コピー先で指定したフォルダ内が空であれば「_1」が付き、空でなければそれ以降メディアを挿入するたびに+1された番号が付きます。

リネームされたファイルを作成日時で並び替えれば、リネーム後もメディア毎の管理が行えます。

異なる機種等で CCD の特性が違う場合で、カメラ毎に色補正を行う時等に便利です。

付けない

この連番は付きません。

10.13. 監視ドライブ

監視したいドライブにチェックを付け、監視したくないドライブは、チェックをはずしてください。

10.14. 監視対象外ドライブの処理

フォルダを開く

各種メディアを挿入するとメディアのフォルダが開きます。

但し、

- ・固定ドライブ
- ・取り外し可能メディアでも、固定ドライブとして認識されるドライブ
- ・ネットワークドライブ

の場合は、開きません。

フォルダを開く - 常に最上位

常にドライブの最上位（ドライブを開いた場所）を開きます。

フォルダを開く - DCIM があれば開く

ドライブの最上位（ドライブを開いた場所）に「DCIM」フォルダが存在した場合には「DCIM」フォルダを開きます。「DCIM」フォルダが存在しなかった場合は、ドライブの最上位（ドライブを開いた場所）を開きます。

何もしない

各種メディアを挿入しても何もしません。

10.15. 設定ファイルを開く

選択するだけでは変更できない設定を行います。

「設定ファイルを開く」を選択すると設定ファイルが開くので、変更後はファイルを上書き保存して閉じてください。

本書類に記載の無い変更を行った場合、本ソフトが正常に動作しなくなる場合がありますのでご注意ください。

変更した設定は、ソフトの再起動後に有効になります。

10.15.1. 容量チェック

コピー元の容量が大きい場合に、警告画面を表示させる事ができます。

[容量チェック]と書いてある行があり、その2行下が

容量=500

となっていますので、「=」の右側を必要に応じて半角数字で変更してください。

単位は[MB](メガバイト)です。

10.15.2. プリンタ名の設定

出荷時に設定してありますので、推奨プリンタを使用する場合は設定不要です。

プリンタドライバインストール後にプリンタ名を変更した場合や、他のプリンタを使用する場合は、下記の手順によりプリンタ名を設定してください。

ファイルを開くと、[印刷]と書いてある行があり、その2行下の「プリンタ名」と書いてある行の「=」の右側にプリンタ名を設定してください。

プリンタ名は、下記の手順により正確な名称を設定してください。

スタートボタンから

プリンタと FAX

コントロール パネル - プリンタ

コントロール パネル - プリンタと FAX

のいずれかを開く。

ご使用になるプリンタを右クリックで選択して、「名前の変更」を選択する

再度ご使用になるプリンタを右クリックで選択して、「コピー」を選択する

「プリンタ」(又は「プリンタと FAX」)画面を閉じる

本設定ファイルの「プリンタ名」と書いてある行の「=」の右側にカーソルを移動する

右クリックして「貼り付け」を選択する。

10.15.3. ドライブ名の設定

[ドライブ名]と書いてある部分があり、その2行下が

「=」の左側：ドライブ記号

「=」の右側：ドライブ名

となっていますので、「=」の右側を

E=E

E=S Dカード

という様に、必要に応じて書き換えてください。

全角文字や機種依存文字も設定できますが、設定できる文字数は各半角 31 文字分まで(全角文字だけの場合は 15 文字まで)です。

32 文字目以降も入力できますが、実行時は後ろの部分がカットされ表示及び印刷されません。

10.16. 設定の組み合わせによる特記事項

コピー方法 直接コピー
ファイル名の書式 日付のみのいずれか

の組み合わせを選択した場合、2 枚目以降のメディアをコピーした際に、ファイル名は時間順にはなりません。(メディア毎では時間順ですが、全体では時間順にはなりません)

具体的な例は、下記の通りです。

1 枚目のメディア

2004 年 01 月 23 日 12 時 01 分 01 秒 のファイル

2004 年 01 月 23 日 12 時 10 分 01 秒 のファイル

2 枚目のメディア

2004 年 01 月 23 日 12 時 03 分 01 秒 のファイル

2004 年 01 月 23 日 12 時 05 分 01 秒 のファイル

が入っていた場合、1 枚目をコピーした時に

ファイル名	更新(撮影)日時
20040123_01.jpg	2004 年 01 月 23 日 12 時 01 分 01 秒(1 枚目のメディアのファイル)
20040123_02.jpg	2004 年 01 月 23 日 12 時 10 分 01 秒(1 枚目のメディアのファイル)

となり、2 枚目をコピーすると

ファイル名	更新(撮影)日時
20040123_01.jpg	2004 年 01 月 23 日 12 時 01 分 01 秒(1 枚目のメディアのファイル)
20040123_02.jpg	2004 年 01 月 23 日 12 時 10 分 01 秒(1 枚目のメディアのファイル)
20040123_03.jpg	2004 年 01 月 23 日 12 時 03 分 01 秒(2 枚目のメディアのファイル)
20040123_04.jpg	2004 年 01 月 23 日 12 時 05 分 01 秒(2 枚目のメディアのファイル)

となります。

11. サポート

11.1. 概要

サポートは有料となっており、概要は下記の通りです。

サポート料金	一般サポート	
	ご購入時にお支払いの場合	3,150円(税込)
	後日お申し込みの場合	10,500円(税込)
サポート期間	ご入金日から1年間	
お支払い方法 (後日お申し込みの場合)	銀行振込(前払) (請求書及び領収証の発行は承っておりませんので、振込時の控えを、お支払いの証明としてください。)	
お振込口座	ジャパンネット銀行 本店営業部 普通 8034950 口座名義 ユ)モノクロームニイガタ (通常の銀行宛の場合と同様にお振込みいただけます)	
お申し込み方法	メール	mail@1966.jp
	F A X	025-267-2065
サポート対応時間	平日10:00~17:00(ご予約制)	

11.2. サポートお申し込み手順

サポートの流れは下記の通りです。

お客様	ご購入時にサポート料金をお支払いいただけていない場合は、サポート料金をお振込みください。
お客様	次ページの内容を記載したメール、又は、次ページに内容を記載したF A Xにてお申し込みください。
弊社	ご購入時にサポート料金をお支払いいただけていない場合は、ご入金の確認を行い、メール・F A X・お電話のいずれかの方法にてご回答させていただきます。

11.3. サポート申込書

お申し込み日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____

御社名 _____ 御中 _____

ご担当者様ご氏名 _____ 様 _____

T E L _____ - _____ - _____

F A X _____ - _____ - _____

メールアドレス _____ @ _____

ご希望日時 第1希望 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

第2希望 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

第3希望 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

ハードウェア環境

項目	お客様環境の状態	ご記入例
パソコン	OS	Xp
	CPU	ペンティアム 4-3.0GHz
	メモリ	1GB
	USB 端子の仕様	USB1.1 / USB2.0
	ハードディスクの 空き容量	10GB
モニタ	モニタサイズ	17 インチ
	モニタ解像度	1024x768
	モニタ種別	ブラウン管 (C R T) / 液晶
	液晶モニタの 最高解像度	1024x768
カードリーダー	仕様	USB1.1 / USB2.0

ご使用方法

項目	お客様環境の状態	ご記入例
使用方法		専用 / 専用でない
注文受付票印刷		する / しない / 毎回選択
プリンタ種別		インクジェット / レーザー / サーマル (レシート)
プリンタメーカー		EPSON
プリンタ型番		PM-950C
用紙サイズ		B6 (128x182mm) 縦 / 72x170mm (ロール紙)
保存先		ドライブ / ネットワークドライブ / PC 内フォルダ / ネットワークフォルダ

現象発生時の状態

項目	お客様環境の状態	ご記入例
ソフトのバージョン		Ver.6.2.0 (設定画面の右上に表示されます)
読込枚数		約 100 枚
読込ファイルの画素数		800 万画素
読込ファイルの状態		未加工 (撮影したまま) / 加工済
読込ファイル平均サイズ		約 1.5MB
読込元メディア		コンパクトフラッシュ
他の PC での動作		同じ / 異なる
再現性		有 / 無
再現する場合の 具体的な再現方法		